

全国的なシカによる自然植生への食害対策の実施により保全される生物多様性の価値に関するアンケート

次へ

注意事項

回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。
回答は、各ページ60分以内に送信をしてください。
JavaScriptを有効にしてください。

推奨ブラウザ

Microsoft Internet Explorer 8以降
Firefox 14.0以降
Google Chrome 21.0以降

推奨OS

WindowsXP
WindowsVista
Windows7

<改ページ>

このたび、環境省では「全国的なシカによる自然植生への食害(植物を食い荒らすことにより生じる被害)対策の実施により保全される生物多様性の価値」に関して、その価値を評価するためのアンケート調査を実施することとしました。回答には10分ほどかかります。なお、アンケートのご回答はすべて統計処理し、個々の調査結果に関しては一切公表することはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、本アンケート調査の目的をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。本調査は、環境省より業務を受託した、中電技術コンサルタント株式会社が実施いたします。

<改ページ>

あなたの自然への関心や知識についてお伺いします。

Q1 あなたは自然豊かな地域をどれくらいの頻度で訪れていますか。1つをお選びください。

[必須]

- 週に1～2回程度又はそれ以上訪れる
- 月に1～2回程度訪れる
- 半年に1～2回程度訪れる
- 年に1～2回程度訪れる
- 全く訪れない

-----<改ページ>-----



Q2 あなたは自然豊かな地域をどのように利用していますか。

[必須]

あてはまるものを全てお選びください。(複数回答可)



- 自然の風景を楽しむため
- 自然の中で避暑、避寒、休養するため
- 動植物などの自然を観察するため
- お寺や神社などを参詣するため
- 登山・海水浴・キャンプなどを楽しむため
- 釣りや潮干狩り・山菜つみなどを楽しむため
- サイクリング・ドライブを楽しむため
- テニス・スキー・サーフィンなどのスポーツを楽しむため
- 温泉に入ってくつろぐため
- その他(具体的に)
- 利用したことはない

-----<改ページ>-----



Q3 あなたは野生の動物や植物を保護することが重要だと思いますか。1つをお選びください。

[必須]



- 非常に重要だと思う
- 重要だと思う
- どちらとも言えない
- あまり重要ではないと思う
- 全く重要ではないと思う

-----<改ページ>-----

ここからはシカにより自然植生への食害(植物を食べすぎることによる生じる被害。本アンケートでは農林業被害は含みません)についてお伺いします。



Q4 あなたは、シカが昔から主要な狩猟の対象であったことをご存知でしたか。1つをお選びください。

[必須]



- 知っていた
- 知らなかった

-----<改ページ>-----



Q5 あなたは、シカが草花や樹木の葉・皮など、様々な植物を餌にしていることをご存知でしたか。1つをお選びください。

[必須]



シカが植物を食べる様子

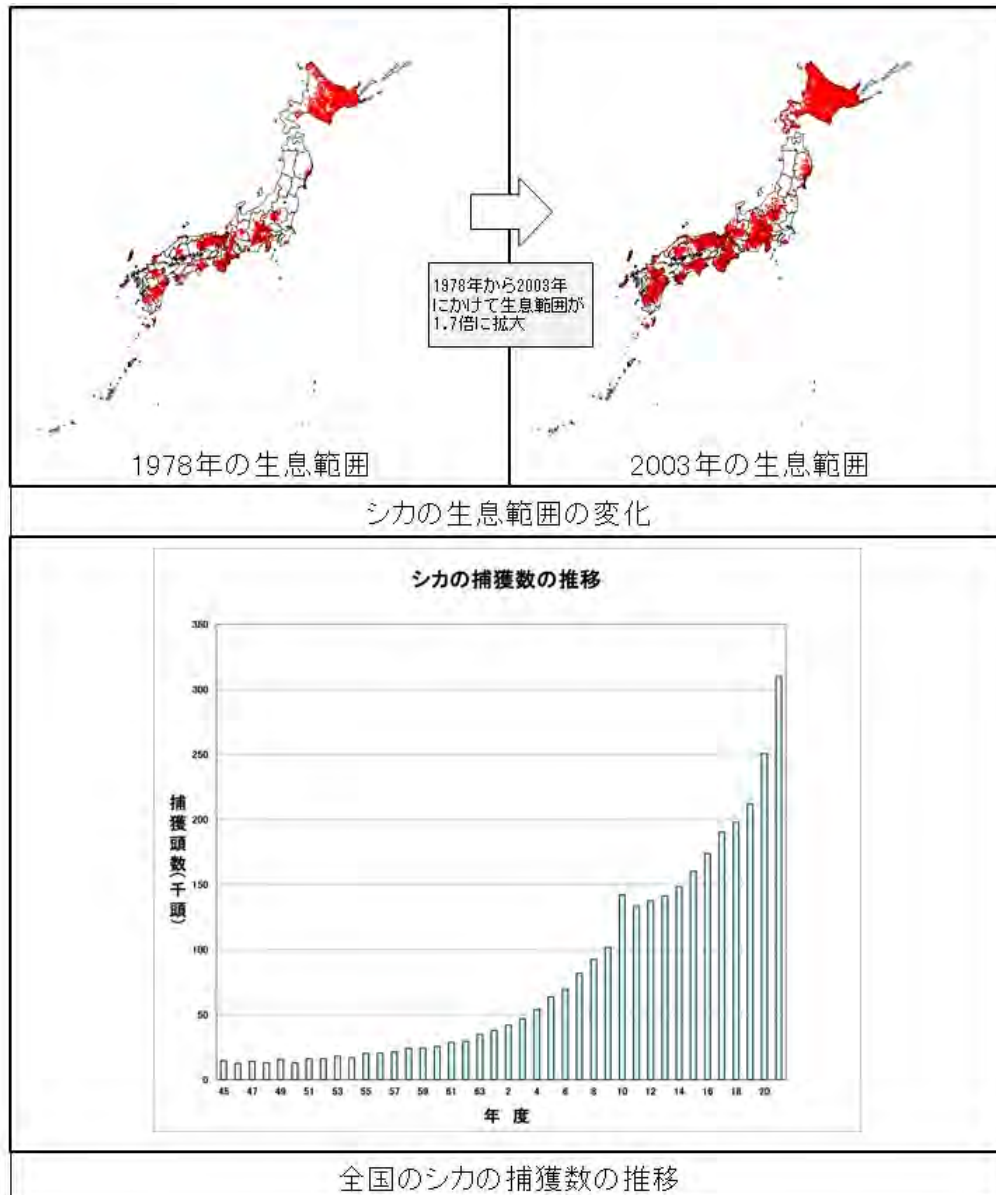
- シカが様々な植物を食べることを知っていた
- シカが何を食べるのか知らなかった

-----<改ページ>-----

Q6 シカは森林、草原、湿原、高山帯等に生息していますが、近年、以下のとおりシカは増加傾向にあります。

[必須]

あなたは、シカが増加していることをご存知でしたか。1つをお選びください。



- 増加していることを知っていた
- 以前と変わらないと思っていた
- 減少していると思っていた
- シカの生息状況を知らなかった

-----<改ページ>-----

Q7 シカの生息範囲の拡大の原因として、以下のようないくつかの要因が重なったことが考えられます。あなたは、このようなシカの生息範囲の拡大の原因についてご存知でしたか。1つをお選びください。 【必須】

【シカの生息範囲拡大の主な原因】	
・森林伐採による餌資源(草地)の増加	・積雪量の減少
・林道整備による移動経路の増加	・耕作放棄地の増加
・計画的な個体数管理が行われなかったこと	・狩猟者の高齢化や減少

- 詳しく知っていた
- 少し知っていた
- 知らなかった

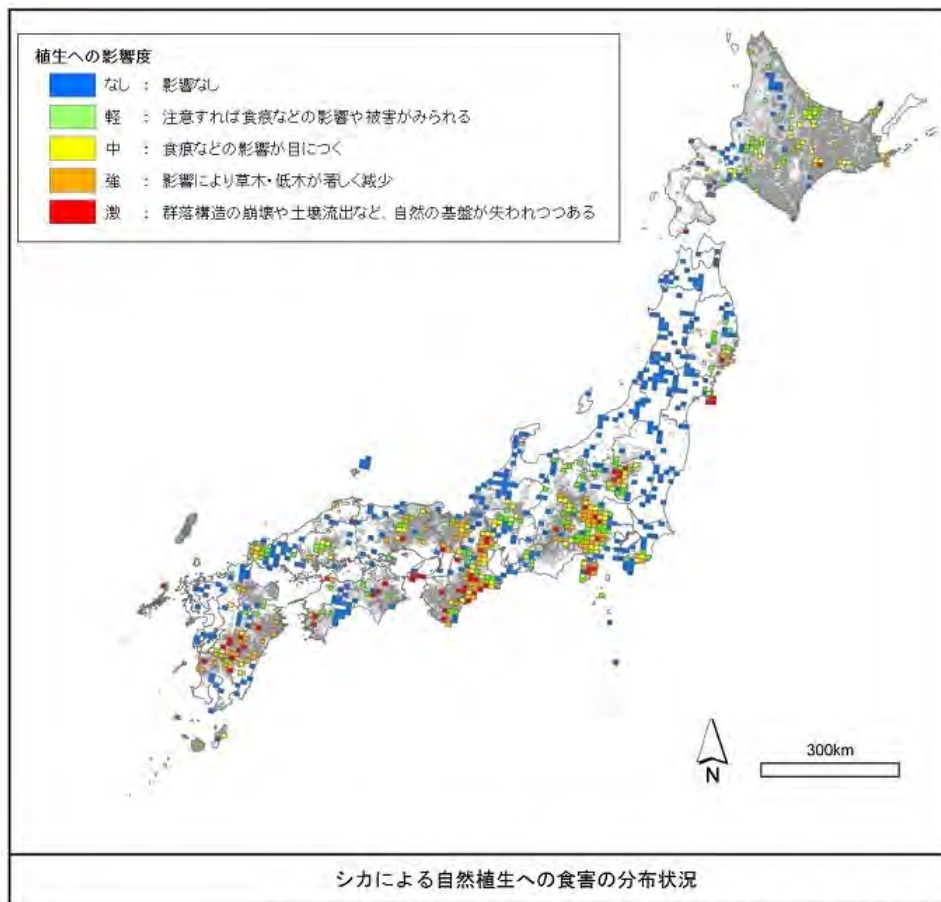
-----<改ページ>-----



Q8 シカによる自然植生への食害は1980年代から目立ちはじめ、現在では地図に示すとおり北海道から九州にまで及ぶ広い範囲で確認されています。

[必須]

あなたはこのような状況をご存知でしたか。1つをお選びください。



出典： 植生学会企画委員会 二ホンシカによる日本の植生への影響 (2011.3) より

- 全国で自然植生への影響があることを知っていた
- 一部の地域で自然植生への影響があることを知っていた
- 自然植生への影響があることを知らなかった

-----<改ページ>-----

Q9 シカによる自然植生への食害の結果、以下に挙げるようにシカの生息地で生物多様性が失われています。あなたはこのような状況をご存知でしたか。1つをお選びください。 **【必須】**

<p>希少野生植物の消失や減少 (ミズバショウ) 栃木県ほか6都道府県で絶滅危惧種に指定</p>  <p>(ニッコウキスゲ) 埼玉県ほか8都道府県で絶滅危惧種に指定</p> 	<p>高山帯のお花畑の消失 (上：食害なし 下：食害あり)</p>  <p>静岡大学 増沢武弘教授 提供</p>  <p>柳岡一博氏 提供</p>	<p>樹皮剥ぎ (シカが樹の皮を剥ぐこと)による樹木の枯死</p>  
<p>斜面が、シカが食べない植物(マルバダケブキ)だけに覆われた状態(植生が単調になってしまった)</p>  <p>林野庁中部森林管理局(元島清人氏) 提供</p>	<p>林床植生(森林の下層に生える草や低木)の減少 (上：食害なし 下：食害あり)</p>  	<p>シカが植物を食べつくした箇所山の斜面が崩落している様子</p> 

- 生物多様性が失われていることを知っていた
- 生物多様性が失われていることは知らなかった
- シカによる食害があることを知らなかった

-----<改ページ>-----

Q10 シカによる自然植生への食害を防ぐ方法として、個体数管理(各地域で適切な個体数を設定して、増えたシカを駆除する)が行われており、今後もこのような対策が有効です。

あなたはこの対策の実施に賛成ですか。1つをお選びください。

[必須]



- 賛成である
- どちらかといえば賛成である
- どちらとも言えない
- どちらかといえば反対である
- 反対である

-----<改ページ>-----

Q11 個体数管理によって駆除されたシカの多くは埋設、焼却によって処分されていますが、北海道や長野県など先進的な取組を行っている地域では、捕獲したシカの肉や毛皮を市場に流通させ有効利用しています。

[必須]

あなたはこうした取組についてどのように考えますか。1つをお選びください。

- 有効利用を全国的に進めていくべきである
- 有効利用を進めていく地域があつてよい
- 有効利用を進めていく必要はない
- 個体数管理自体をするべきではない
- 分からない





-----<改ページ>-----

Q12 シカによる自然植生への食害を防止するため、自然植生の周囲への柵やネットの設置が行われており、緊急避難的な対策※として有効です。

[必須]

あなたはこの対策の実施に賛成ですか。1つをお選びください。

※元の自然植生が回復するためには、シカの個体数を減少させる取組もあわせて行う必要があります。

<p style="text-align: center;">柵の設置例</p> 	<p>自然植生への食害を防ぐ柵やネット等の効果 柵を設置した箇所（緑色の部分）は、食害を免れ、植生が残っています。</p> 
<p style="text-align: center;">希少種のキタダケソウを 保護するために設置した柵</p> 	<p style="text-align: center;">キタダケソウ</p> 

- 賛成である
- どちらかといえば賛成である
- どちらとも言えない
- どちらかといえば反対である
- 反対である

-----<改ページ>-----

Q13 増えたシカを駆除して個体数を管理したり、シカによる自然植生への食害を防ぐために柵やネットを設置したりするためには、多くの労力とお金が必要です。

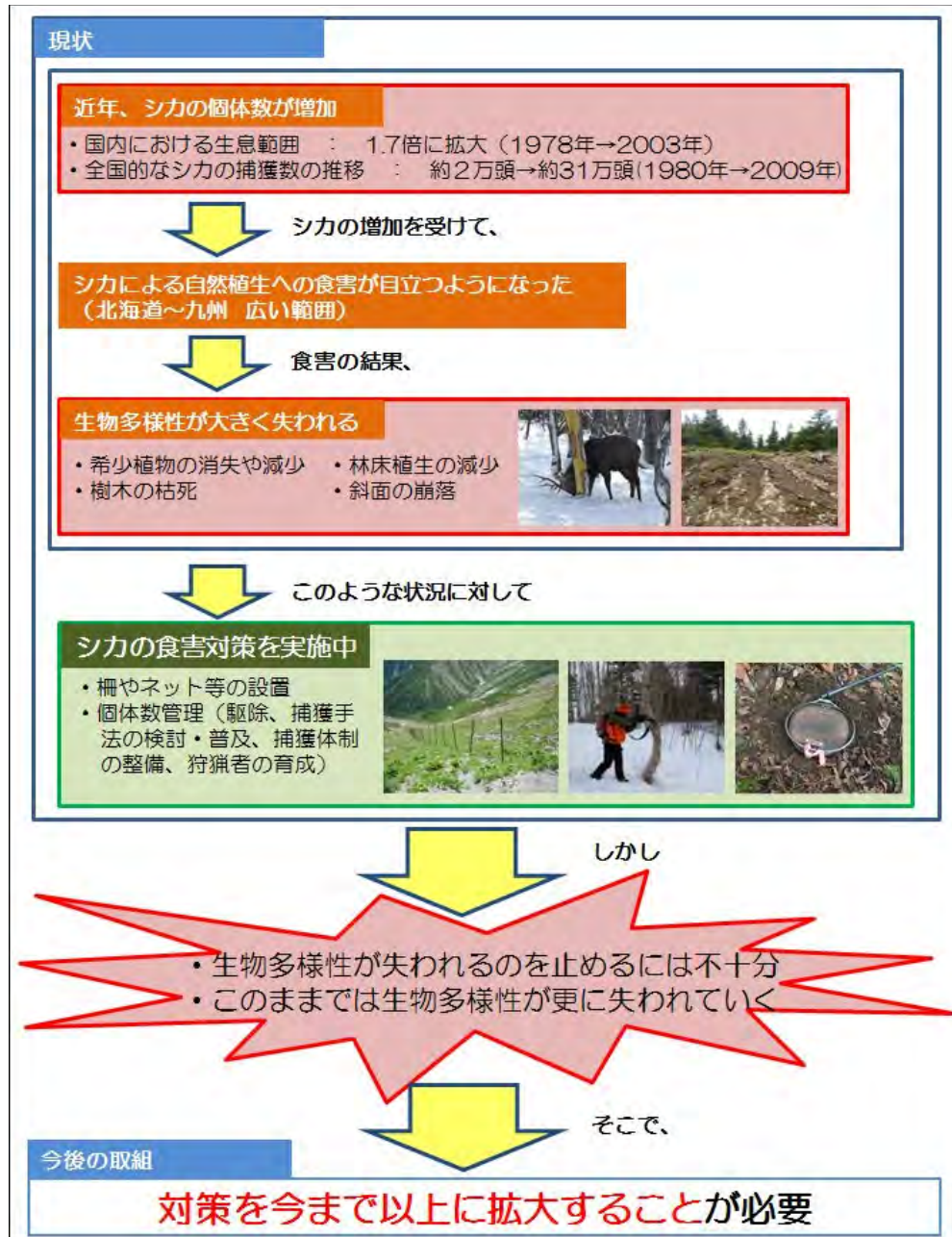
[必須]

あなたはこのように、シカによる自然植生への食害を防ぐためには多くの労力とお金がかかることをご存知でしたか。1つをお選びください。

- 知っていた
- 知らなかった

-----<改ページ>-----

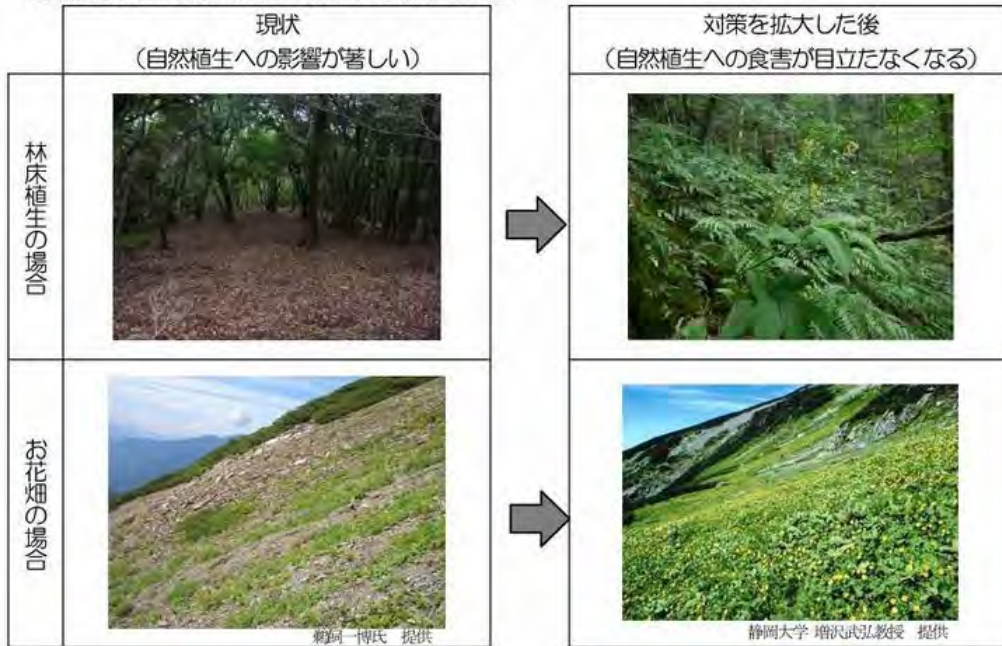
以下の資料をよくお読みになり、次の質問にお答えください。



以下は仮の質問です。シカの自然植生への食害対策を拡大して生物多様性を保全するため、新たに基金を設置して皆さんから募金を集めることとします。

対策を拡大することにより、シカの生息地内の自然植生が、シカの食害が目立たない状態にまで回復すると仮定します。

○食害対策を拡大することで得られる効果（仮定）



集めたお金は、シカによる自然植生への食害対策をするためだけに活用されます。
この支払いにより、あなたの世帯の自由に使える金額が、支払った分だけ少なくなると仮定してお考えください。

Q14 シカによる自然植生への食害対策を拡大し生物多様性を保全するために、仮にあなたの世帯にお金を支払っていただく必要があるとします。毎年同じ金額をお支払いいただくものとし、支払いは10年間継続するものとします。

[必須]

あなたは、年間500円を支払ってもかまいませんか。1つをお選びください。

- はい
- いいえ

-----<改ページ>-----

【条件】

Q14で『1.はい』 いずれかを選択した方のみ

Q15 前問で「はい」とお答えになった方にお伺いします。では、年間1,000円を支払ってもかまいませんか。1つをお選びください。

[必須]

- はい
- いいえ

-----<改ページ>-----

【条件】

Q14で『2.いいえ』 いずれかを選択した方のみ

Q16 前問で「いいえ」とお答えになった方にお伺いします。では、年間100円を支払ってもかまいませんか。1つをお選びください。 【必須】

- はい
- いいえ

-----<改ページ>-----

【条件】
Q14で『1.はい』 いずれかを選択した
または
Q16で『1.はい』 いずれかを選択した方のみ

Q17 ここまで支払ってもかまわない金額を一度でも「はい」とお答えになった方にお伺いします。 【必須】

その理由は何ですか。1つをお選びください。

- 生物多様性を保全したいから
- シカの食害対策により自然植生を保全したいと思ったから
- 生物多様性の保全には反対だが、世の中の役に立つことにお金を払うのはいいことだから
- その他(具体的に)

-----<改ページ>-----

【条件】
Q14で『2.いいえ』 いずれかを選択した
かつ
Q16で『2.いいえ』 いずれかを選択した方のみ

Q18 ここまで支払ってもかまわない金額を2回とも「いいえ」とお答えになった方にお伺いします。 【必須】

その理由は何ですか。1つをお選びください。

- シカの食害対策により生物多様性を保全する必要があると思うが、アンケートで示された金額を支払う必要までは感じないから
- シカの食害対策により生物多様性を保全する必要はないと思うから
- 地域住民が支払うべきであって、国民全体で負担する必要はないと思うから
- 基金でお金を集めることに反対だから
- その他

-----<改ページ>-----

あなた自身についてお伺いします。

Q19 あなたと同居している家族はあなたも含めて何人ですか。1つをお選びください。 【必須】

- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- 5人
- 6人
- その他 人

-----<改ページ>-----

Q20 Q19でお答えいただいた家族の中で収入のある人(年金生活者も含めます)はあなたも含めて何人ですか。1つをお選びください。 **[必須]**

- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- その他 人

-----<改ページ>-----

Q21 あなたのご職業を教えてください。1つをお選びください。 **[必須]**

- 会社員
- 公務員
- 自営業(農林業者)
- 自営業(農林業者以外)
- 大学生
- 学生(高校生以下)
- パート
- アルバイト
- 年金生活者
- 無職・専業主婦
- その他(具体的に)

-----<改ページ>-----

Q22 あなたの家の年収は、税込みでだいたいどのくらいですか(年金も含めます)。1つをお選びください。 **[必須]**

- 200万円未満
- 200～400万円未満
- 400～600万円未満
- 600～800万円未満
- 800～1,000万円未満

- 1,000～1,200万円未満
- 1,200～1,500万円未満
- 1,500万円以上

-----<改ページ>-----



Q23 自然植生へのシカの食害対策や、本アンケート調査に対するご意見がありましたらご記入ください。

.....

-----<改ページ>-----

